



学生団体 Re:inc

スマートフォンセキュリティ・シンポジウム

学生団体 Re:inc 事例紹介

一般社団法人 日本スマートフォンセキュリティ協会
学生団体 Re:inc

Agenda

学生団体 Re:inc 概要

活動の契機

ワークショップ

アンケートから

今後に向けて

学生団体 Re:inc 概要

活動の契機

ワークショップ

アンケートから

今後に向けて

学生団体Re:inc概要

- ・大学生を中心としたサイバー防犯ボランティア団体

4 大学 15 名

慶應義塾大学・中央大学・東京大学・明治大学

- ・Re:inc = “Rethink about the internet crime”

「ネットいじめ」に代表されるインターネットトラブルに巻き込まれる子どもたちを減少させ、スマートフォンをはじめとしたIT機器との「共生」の在り方を大学生の立場から、保護者や教員の方とともに考えること

学生団体Re:inc概要 ロゴ



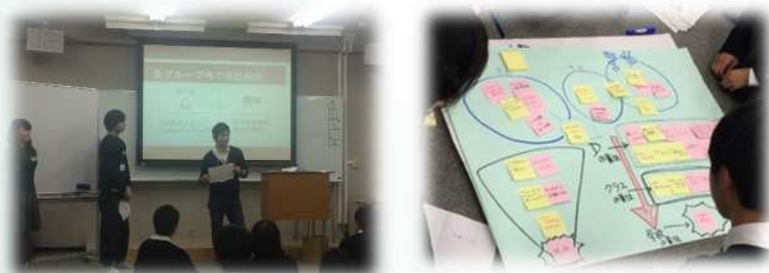
iには…

- ① **i**nternet
- ② **i**ntelligence
- ③ **i**nteraction
- ④ Re:**i**nc

大学生 $\longleftrightarrow$ **i**(生徒や親)

学生団体Re:inc概要 活動内容

小学生～高校生向け ワークショップ 5校（累計参加者1000人）



親子向けワークショップ



メンバーのスキルアップ 活動（勉強会）

ファシリテーション研修

サイバーセキュリティー勉強会 等

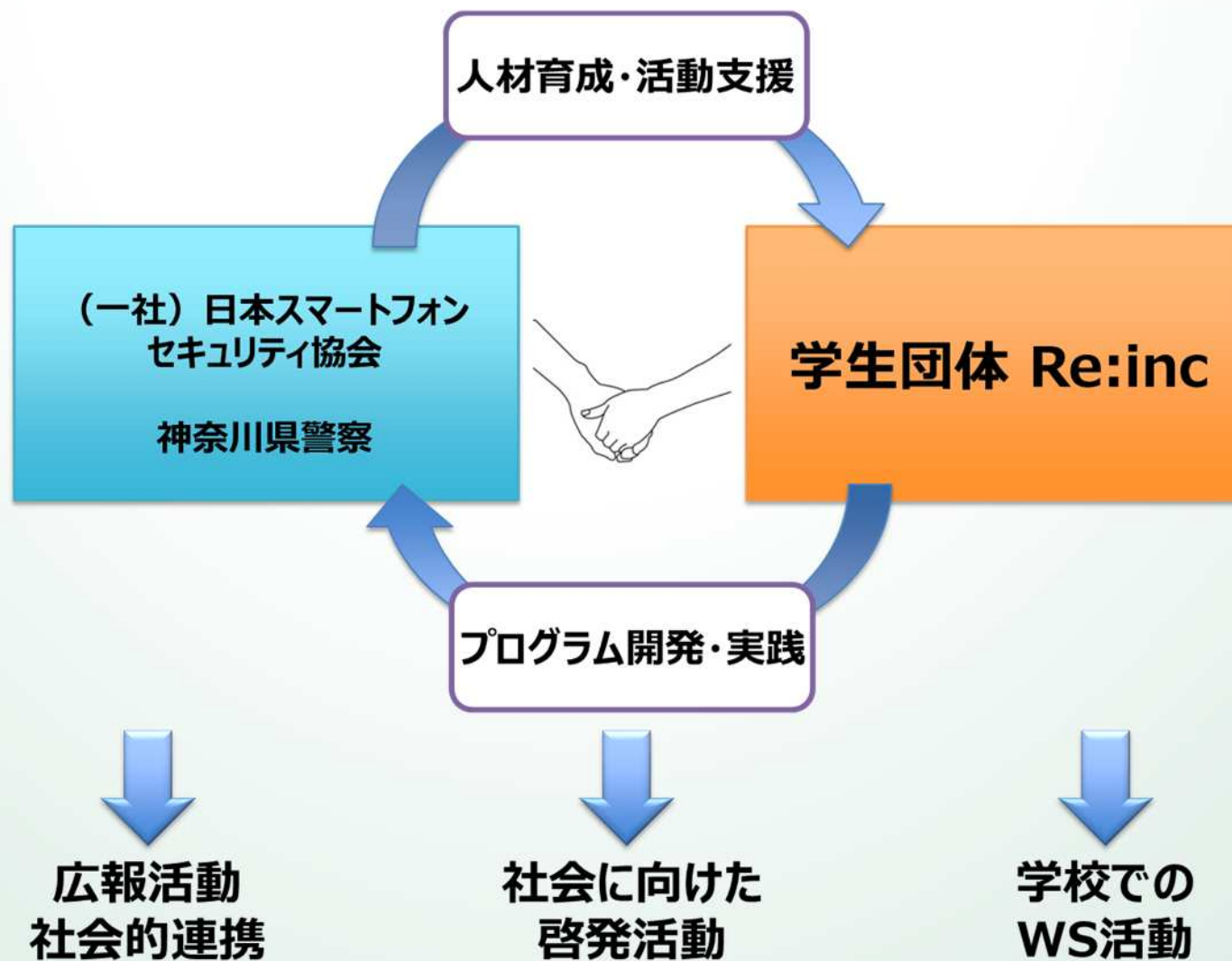
その他

PTA向けディスカッション



Facebook
サイバーウェルネスプログラム
パートナー団体

学生団体Re:inc概要 JSSECとの連携



学生団体 Re:inc 概要

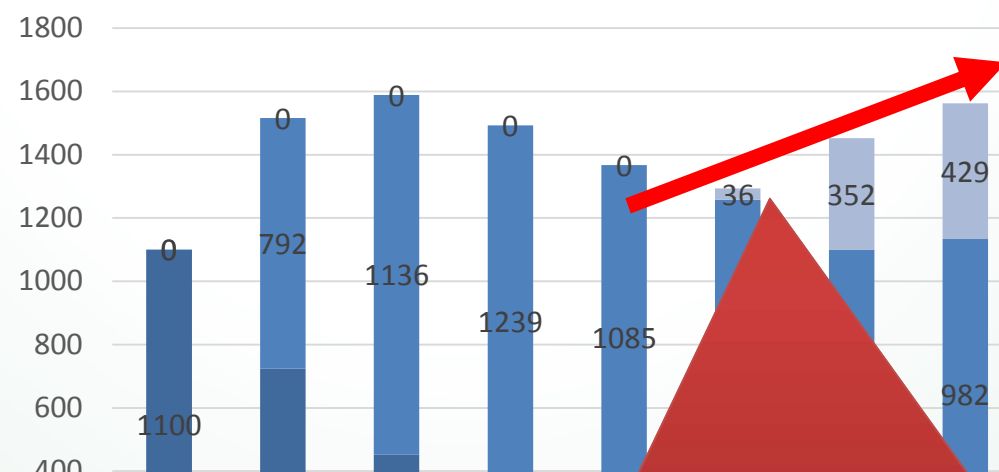
活動の契機

ワークショップ

アンケートから

今後に向けて

出会い系サイト及びコミュニティサイトに起因する事犯の被害児童数の推移



過去減少傾向にあったものの
近年再び増加傾向

出典 警察庁

平成27年上半期の出会い系サイト及びコミュニティサイトに起因する事犯の現状と対策について より

スマホの急速な普及、
コミュニケーションの多様化が進むなか、

教える人が
スマホやネットに
慣れていない？

子どもたちの
コミュニケーションや
ネットの利用方法が
わからない??

情報教育が追いついていない状態

活動の契機

子



■生徒

インターネットを使いこなす基本的な能力はあるが、インターネットトラブルに巻き込まれないための自衛能力に欠ける。

大学生の意義

親



■保護者

インターネットトラブルに巻き込まれないための自衛能力はあるが、インターネットを使いこなす基本的な能力に欠ける。もしくはあまり使ったことがない。

大学生が果たせる役割があるのでは？？

- ① 「デジタルネイティブ（Digital Natives）」世代として生徒と**同じ目線に立った活動**ができるのでは？
- ② 「歳の近い」大学生だからこそ、**生徒が素直に受け入れてくれる環境を作れる**のでは？
- ③ その中で、生徒～大人の**仲介役**になれるのでは？

活動の契機

2015年3月から私たちは
「**大学生によるセキュリティワークショップ**」活動を開始

ワークショップの参加した生徒からアンケートを取り、
小中高生のインターネット利用状況や意識調査・分析を実施

『Smartphone Security Workshop Report 2015』

本レポートは活動内容だけでなく、
ワークショップで得られたデータ
(生徒1000人)をまとめたものです！！

学生団体 Re:inc 概要

活動の契機

ワークショップ

アンケートから

今後に向けて

ワークショップ 流れ



学校や生徒の
状況を踏まえ、
ワークショップの
テーマを設定する

シナリオを提示
生徒をいくつかの班にわけ
ワークショップや意見交換を
実施

ワークショップ 流れ

導入

- グループ分け
- Re:incの説明
- 近年のSNS事情の紹介

シナリオ 例1

6人の生徒が参加するSNSグループで
Aさんが既読無視している状況
課題1：Aさんはなぜ既読無視をするのか。
課題2：既読無視された人はどう感じるか。

シナリオ 例2

BさんたちがAさんに対して悪口を言い
始めた。
課題1：このあと、AさんやBさんたちに
どのようなことが起こるか。

ワーク

- 自己紹介
- シナリオの説明
- グループディスカッション（ワーク①・②）

発表

- グループごとに発表
- 質疑応答
- まとめ



**シナリオを提示し、
生徒たち自身で
「なぜ？」「どうなる？」
「どうする？」を導き出す**

大学生と一緒に考えよう！

「ネットのトラブル」



学生団体 Re:inc

**名前
(あだ名)**

趣味

**スマホを持って
良かった事**

**スマホを
持ち始めた
きっかけや時期**

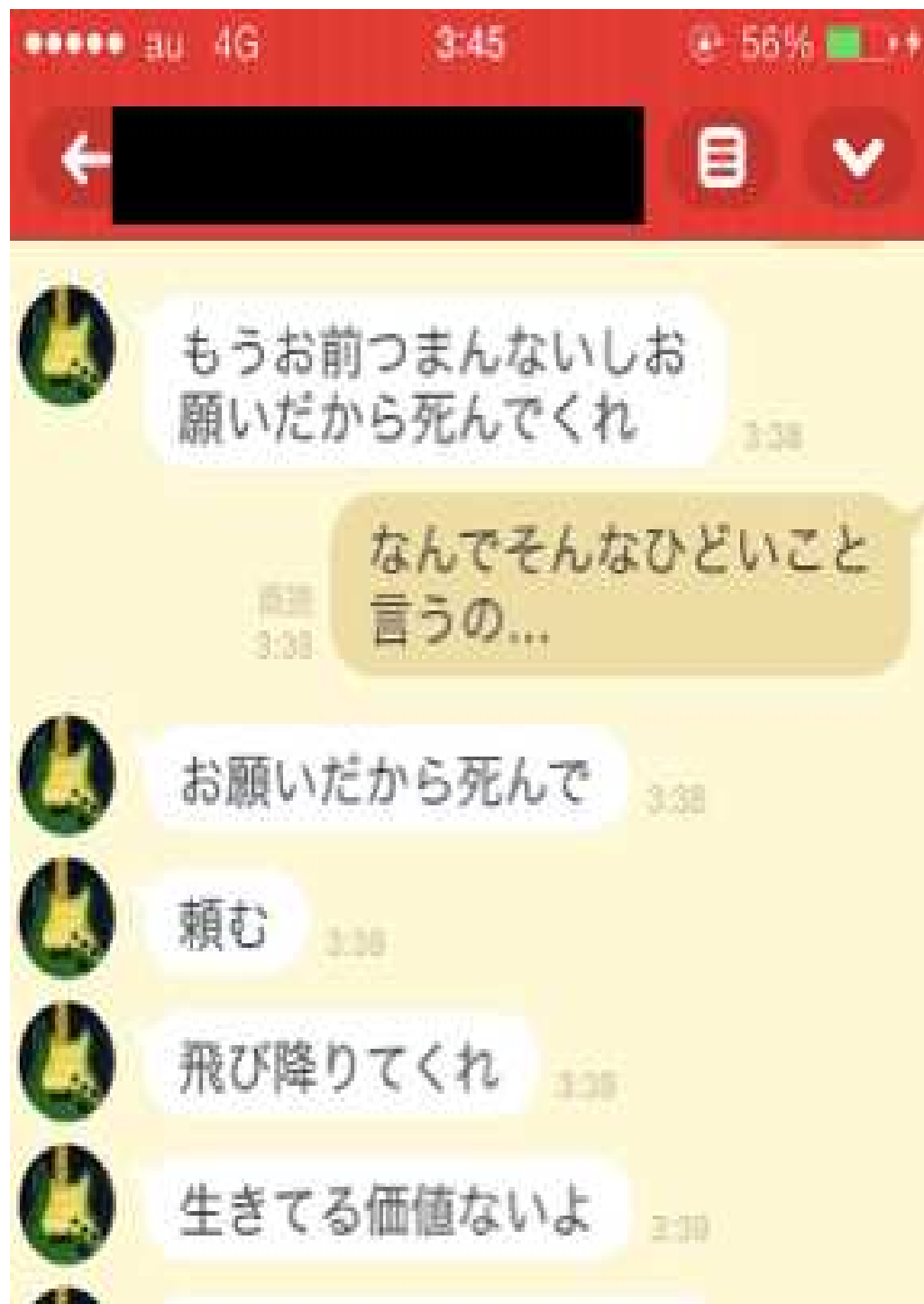
バイトなう(͡° ͜ʖ ͡°)残り10分(*^へ^*)



[← 返信](#) [🔄 リツイート](#) [👤 リツイートを取り消し](#) [★ お気に入りに登録](#) [⋮ その他](#)



LINEいじめ





はじめまして！嵐ファン
と書いてあったのでフォ
ローさせて頂きました！
9月の全国ツアーの東京コ
ンサートチケット余って
いて、貰ってくれる方探
してます！興味があったら
フォロバお願いします！

昨日 11:23

女子高校生 線路横断の動画
「ふざけてやってしまった」

インターネットに投稿された動画

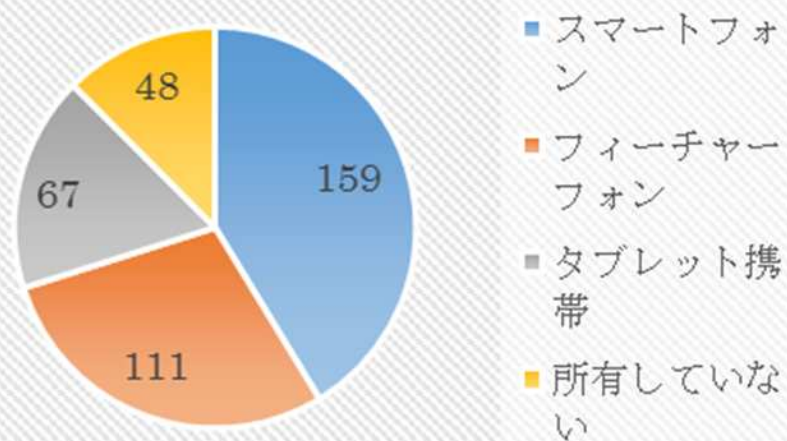
- ネットで拡散
- 警察が女子高校生ら3人に事情聴取

SHARP
CORPORATION

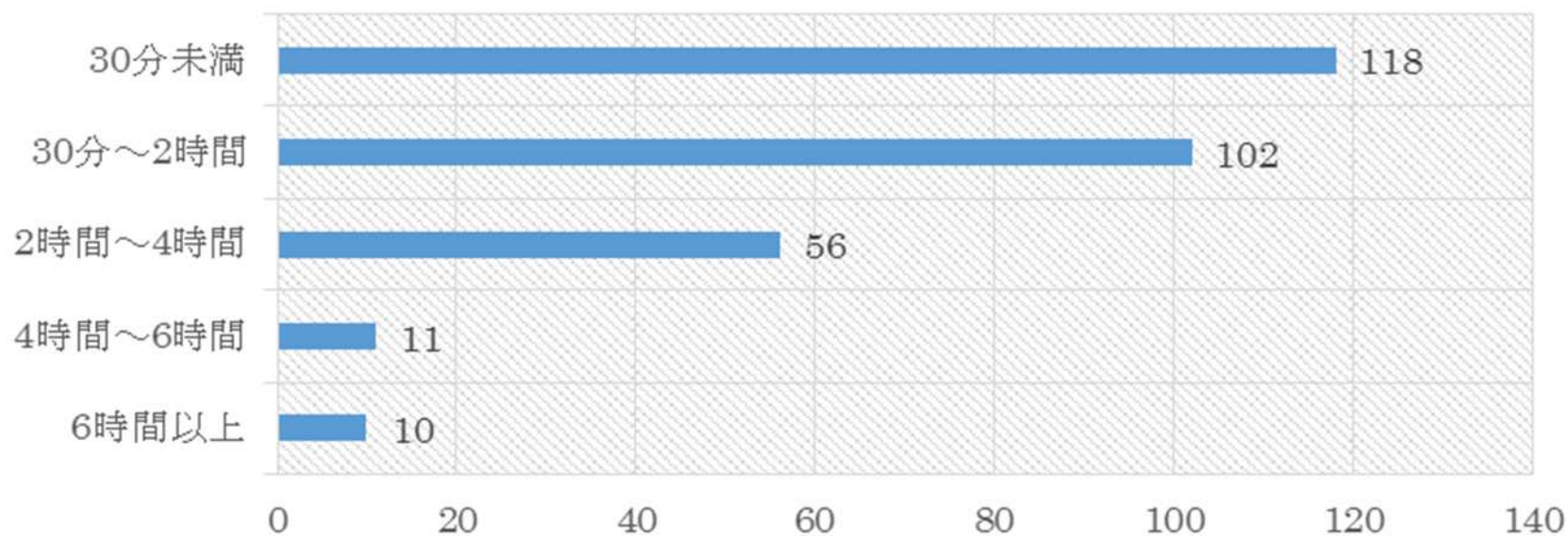
2016年3月10日 日本テレビ放送

1年生の場合

(2) 携帯電話の種類

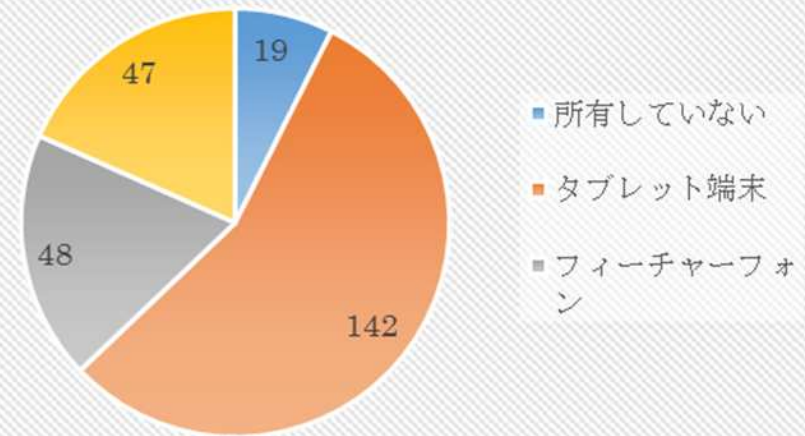


(3) 使用する時間

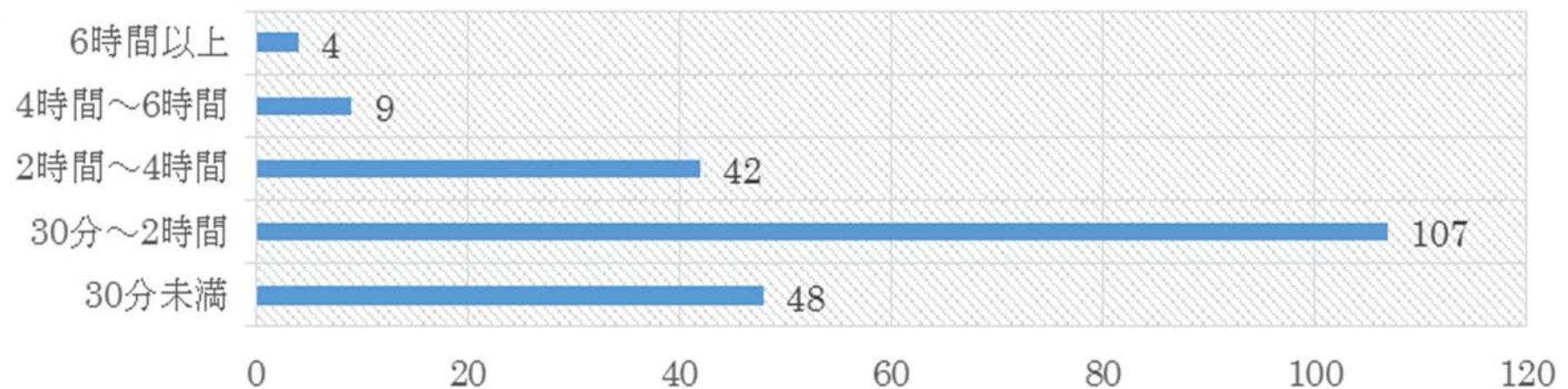


2年生の場合

(2) 携帯電話の種類



使用する時間



ある日、インターネットで動画を見ていました

このお笑いコンビ、俺的に全然おもしろくないなー



そうだ！暇だしつまんないし、
コメント書き込んでみよ～



クイズ！

このコメントを書きこんだことで
嫌な思いをする人は誰？

- ①お笑い芸人
- ②このコメントを見た人
- ③自分

正解は...

ぜんぶ！



ある日、

A、 B、 C、 D、 E、 の

5人がグループLINEを

していました。



14:04

47%



(4)

3組いつめん (5)



つけるー

14:02



A

今日の先生の話し方まじ
独特だったな

14:02



B

わろたwww

14:02

既読 4
14:03

それなwww



D

眠くなったわww

14:03

既読 4
14:03

まじそれwww



D

あれはひどいwwww

14:04



A

超笑いそうになった

14:04



D

まじうけたwwwwwwww

14:04





14:07

46%



(4)

3組いつめん (5)



D

今度集まるー

14:05

既読 4
14:05

いいねー！



B

集まりたい♡

14:05



A

最高！！

14:05



A

今日で良くない？

14:05

既読 4
14:05

あり！！！！



D

賛成！！！！！！

14:05



B

超アガる——♡

14:06



D

いえ——い！

14:06



実は…

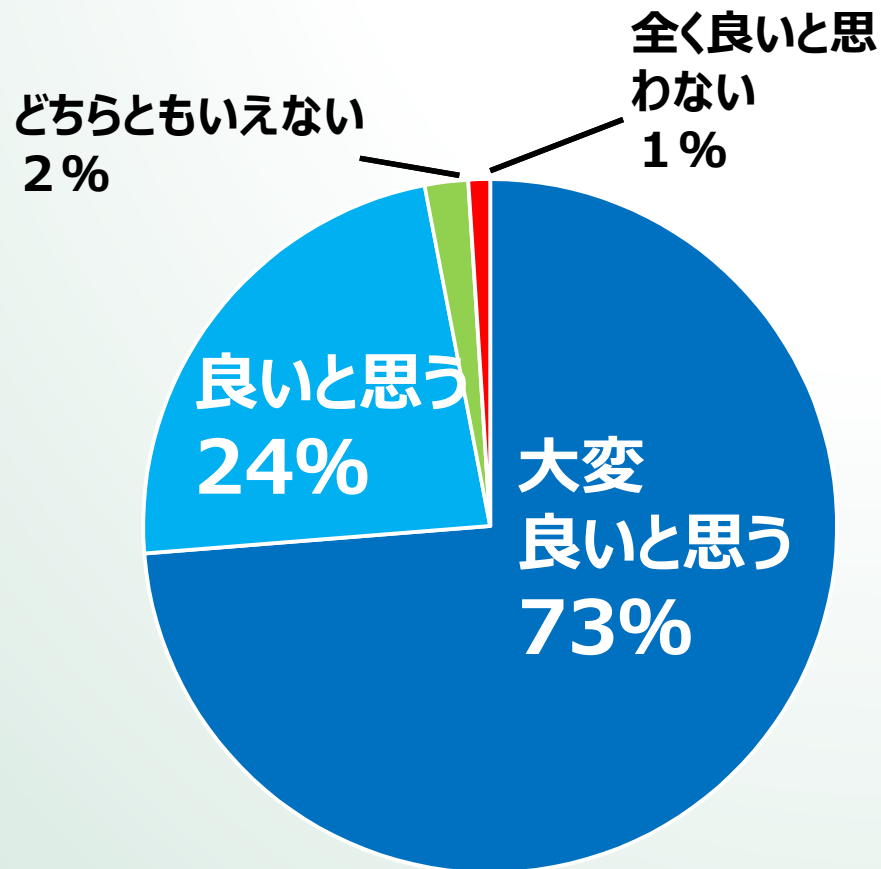
CはグループLINEでずっと

既読無視をしていた。

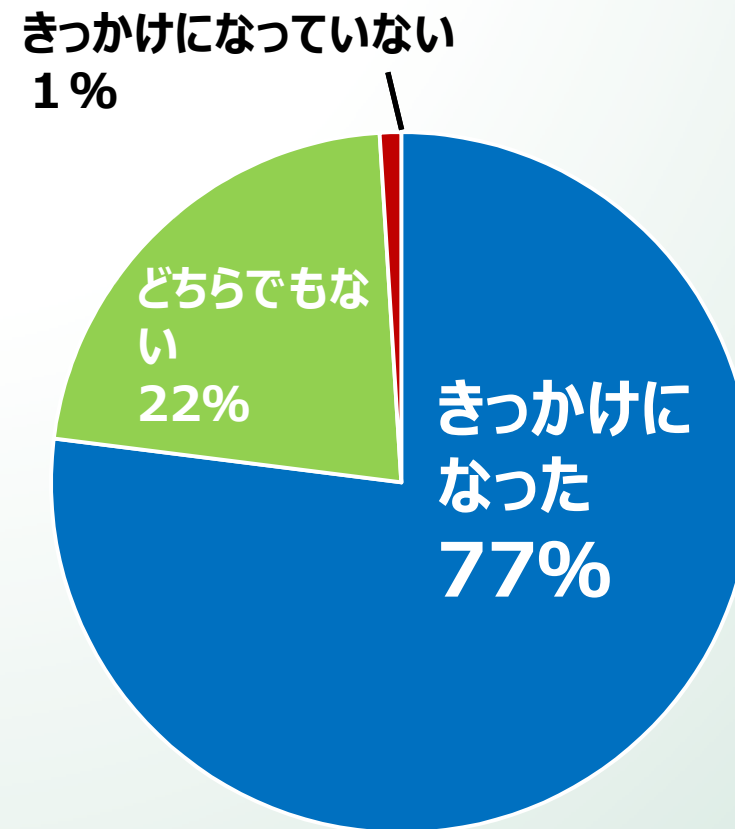
- **Cはなぜ既読無視していたのか？**
- **既読無視された人は
どう感じたか？**



92%が大学生によるWSを
肯定的に評価



77%がスマホの利用の仕方について
考えるきっかけになったと回答



生徒

「**歳が近い分、**
親に言われるより**納得できる**」

「ファシリテーターの方が、
大学生だったので、
とても身近な視点で
考えることができました」

「私たちも、中学校や小学校で
同じようなことをやりたいと
思った」

大学生

「大学生が学校で活動するとい
うだけで**関心を全面に出してく**
れる生徒がたくさんいて、こちら
側もとてもやりがいや活動に楽し
さを感じる」

「大学生である私たち自身も、
生徒のインターネットの利用の
仕方や発想等を知ることがで
き、大変勉強になると実感して
います。」

学生団体 Re:inc 概要

活動の契機

ワークショップ

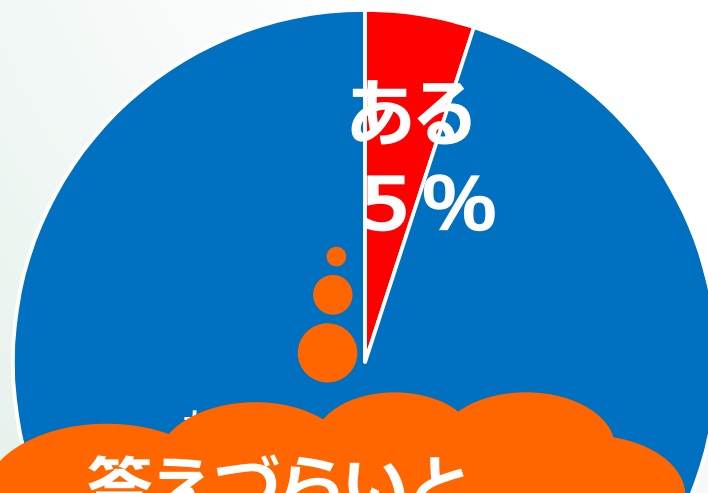
アンケートから

ワークショップ事前アンケート
から作成 N=745

今後に向けて

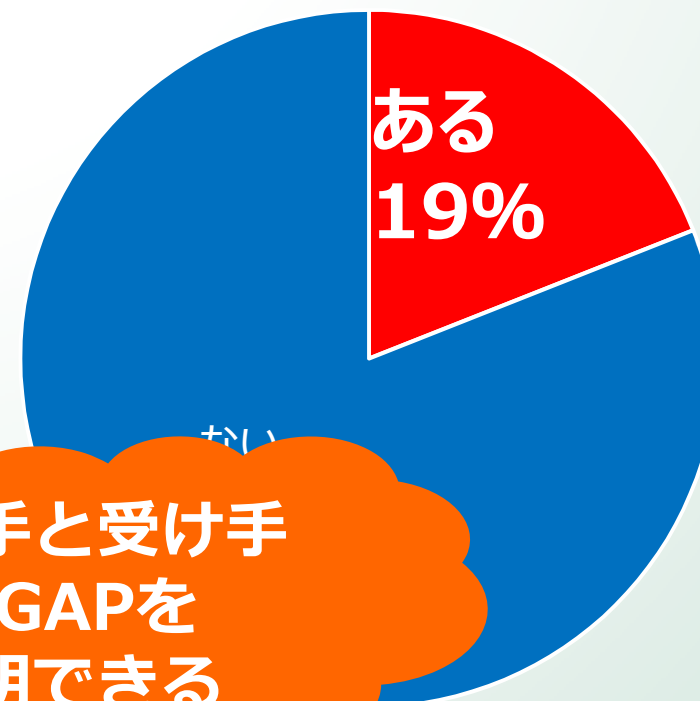
アンケート結果から

5%がSNSで
誹謗中傷をしたことがある



答えづらいと
思える設問にも
答えてくれる

2割がSNSで
嫌な思いをしたことがある

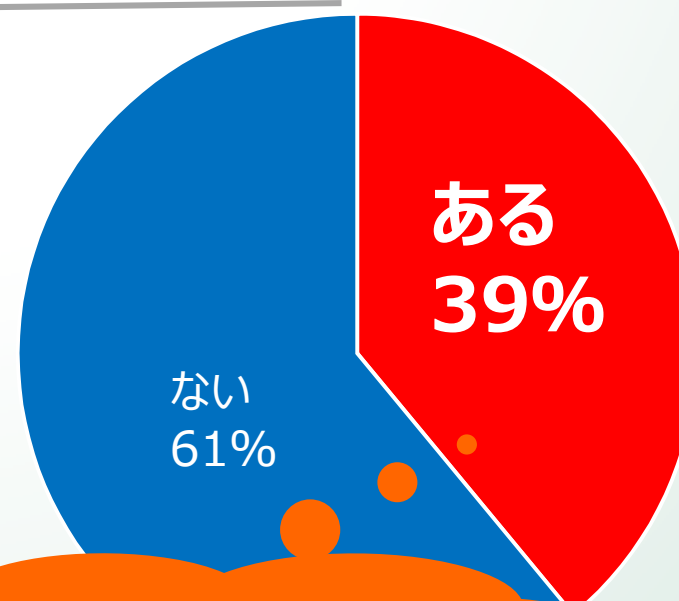
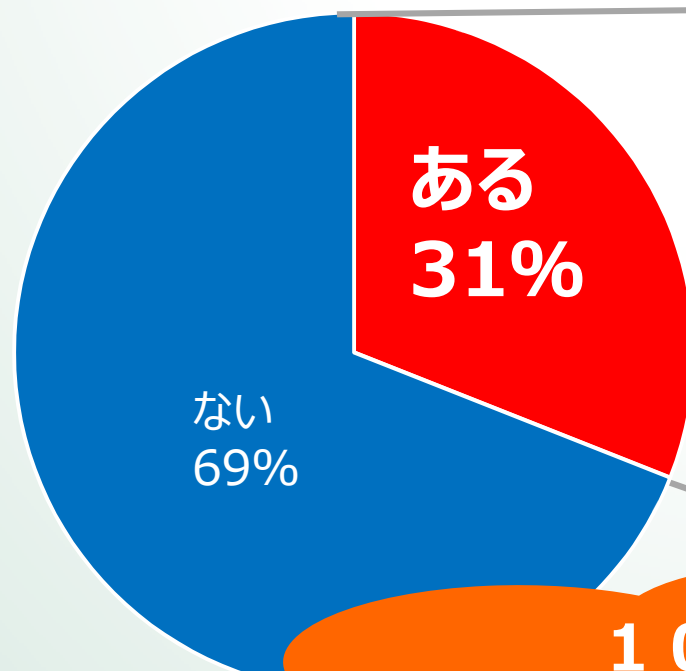


送り手と受け手
のGAPを
説明できる

アンケート結果から

3割の生徒が
面識のない人と連絡を
とったことがある

そのうち4割の生徒は
連絡後相手と会ったことがある



10人に1人が、
ネットを通じて知り合った人と
現実に出会っていることに

アンケート結果から

連絡後相手と会ったことがあるなかで、
実際にあって良かったという印象がほとんどを占める。



- ・ いい人だった
- ・ 友達の和が増えた
- ・ 学校であう友達より楽しかった
- ・ 興味が同じで話やすかった
- ・ (コンサートチケットを)
売買できた

良いことかも
知れませんが、

リスク認識を低く
させる要因に

学生団体 Re:inc 概要

活動の契機

ワークショップ

アンケートから

今後に向けて

今後に向けて 課題

① 大学生と生徒との間にもジェネレーションギャップが存在

- ・ 大学生でも知らない、ネットトラブルの存在
- ・ 生徒が持つ知識は、時に大学生でさえ追いついていない

② いつも、大学生が仲介できるわけではない

- ・ 学生なので・・・
- ・ ワークショップを機に大人～生徒で会話を始めてほしい

③ 本活動メンバーの更なる拡大

- ・ Re:incだけでは限界も
- ・ 世代交代に備える必要性

今後に向けて 取組み

- ① ワークショップを通じた
生徒たちの利用状況やトラブル／悩みの把握
- ② 大人参加型ワークショップの拡充
親子向け／先生・生徒協同型など
- ③ 本活動の普及
メンバーの拡大と次世代育成
他団体との連携
広報の強化など



**ご清聴
ありがとうございました！**